

特定非営利活動法人キーパーソン 21

倫理綱領

キーパーソン 21 を応援してくださっている皆さまへ

子どもたちが自分の未来を考えるためにはどうすればよいか、どのようにすればそのような機会を増やせるのか、を考え、実現していこうと 2000 年 12 月、キーパーソン 21 は誕生しました。

そして、『あなたの人生をわくわくさせる』ことをミッションとして、キーパーソン 21 の考えや活動が大きく広がってきています。よく引用される例えですが 北は北海道から南は沖縄まで 私たちの会員は全国に広がり、私たちの活動をサポートしてくださる行政や企業の皆さまも多岐にわたってきています。

「引き出す・認める・伴走する」というキャリア教育のマインドは私たちキーパーソン 21 の活動の根幹にあるものですが、その背景には、子どもたち、保護者の皆さん、学校の先生方、私たちのような社会にいる大人たち、誰に対しても公平に、正直に、誠実に接していくという暗黙のコミットメントがあります。そしてこのコミットメントは、今後キーパーソン 21 の思いをさらに広げ深めていくうえで基盤となるものです。

キーパーソン 21 の会員が公平に、正直に、誠実に世の中に向き合っていくことを疎かにして、活動の長期的な成功とすべてのステークホルダーとの永続的で良好な関係を構築することは不可能です。

キーパーソン 21 を応援してくださっているすべての皆さまのご理解、ご支援とともに、厳しい眼差しが私たちの活動と発展の糧となります。

どうぞよろしくお願い致します。

認定 NPO 法人 キーパーソン 21 理事会

代表理事 朝山 あつこ

キーパーソン 21 会員への期待とお願い

キーパーソン 21 のすべての会員には次の事柄が求められます。

1. 清廉性とコンプライアンス

キーパーソン 21 の事業の領域や対象が多様化していくにつれて、これまで経験したことの無い場面や判断の局面にぶつかるかもしれません。過去の活動の成果と築き上げてきたブランド価値を無駄にしないために、清廉で法令を遵守することが必須です。

- すべての法規を遵守する
- キーパーソン 21 の定款、会員規約、すべての規程・規則を遵守する
- 他の団体や組織の決まりごとを尊重する
- 判断するうえで疑問や不安がある場合、自己判断せず質問を提起する
- 特定の団体や政党への関わりをキーパーソン 21 に持ち込まない

2. 公平性

一人ひとりを公平に、一人ひとりの価値と思いを認める。キーパーソン 21 の会員が人と接するときの基盤です。

- ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂）
人種、肌の色、宗教、性別、性同一性、国籍、出身地、年齢、学歴、婚姻の有無、障がいの有無や程度、性的指向、社会的・経済的地位の高低などで人を差別しない
- 人権
すべての人々の基本的人権を支持し、自発性を尊重する
他人に不快な感情を抱かせない
- 相互主義
自分が人に扱われたいと思うように、他人を扱う
- 透明性
共通の認識を求めるために、機会と情報を共有する

3. 正確性・正直性

誰に対しても誤解を招くような発言や不正直な発言をせず、倫理に反する行為、詐欺行為、違法とみなされる行為を絶対に行わないことです。

- 虚偽、推測または不正確な報告書や清算書を提出しない

- 行政を含む外部への報告書またはその他の文書に、虚偽の、または誤解を招く記述をしたり、重要な情報を省略したりすることのないようにする
- 判断や決定に至る承認プロセスを遵守する

4. 情報機器セキュリティ

私たちが取り扱う情報やデータの多くはひとに関わるものであり、格別の注意を払うべきものです。戸締りをきちんとするように、機器管理をしましょう。

- パソコン、タブレット、その他モバイルデバイスを安全・確実に起動、管理する
- 機器には必ずウイルス対策ソフトを導入する
- 疑わしいソースからのハイパーリンクをクリックしたりファイルを開いたりしない
- ソフトウェア、セキュリティの更新を怠らず、常に最新であることを確実にする
- フリー・ソフトウェアの利用には十二分に気を付ける
- 機器の廃棄時にはデータの消却を確実にを行う

5. コンテンツ セキュリティ

5.1 電子媒体データ

私たちが取り扱う情報やデータの多くはひとに関わるものであり、格別の注意を払うべきものです。クリックひとつで大変なことになることがあることに絶えず留意しましょう。

- 電子データの送付、USB・SDカードへの転送はくれぐれも慎重に行う
- 電子データのコピーや旧データの取扱いに注意する
- 個人的な電子データとキーパーソン 21 の電子データを混在させない
- 個人としてのサイトでの発言にくれぐれも注意する
- 電子データの暗号化、パスワード管理などを有効に用いる
- USB・SDカードを紛失しないよう、くれぐれも注意する
- 外部への電子データ送付にあたっては、第三者による取扱注意を表記する
- 機密情報を第三者に開示する必要がある場合、秘密保持契約が締結されていることを事前に確認する

5.2 紙媒体データ

キーパーソン 21 用に作成された文書は機密情報が含まれているかどうかにかかわらず、キーパーソン 21 の資産です。了解なくキーパーソン 21 の活動以外に使用することはできません。

- コピーが必要な場合、必要部数のみの複写を心掛ける
- 所定のフォルダーのある場合、速やかにフォルダーにファイルする
- 正確で信頼できる記録を作成する
- 内容の更新が行われた場合、新旧文書を混在させない
- 文書の保存期間、保存場所については別途定める文書管理規程を遵守する
- 不注意による情報漏洩を避けるよう、パブリック・スペースでの会話やパソコンの使用には十二分に注意する

6. 機密情報の取扱い

全ての情報の取扱いには注意が必要ですが、機密情報については一層の配慮が必要です。

- 機密情報であるかどうか判断するひとを定める
- 機密扱いの文書については、必ずその旨を記載する
- 情報毎に、情報を知るべきひとの絞り込みをおこない、その時点で情報を不要とするひとには配布しない
- 業務の一環として他者の個人情報にアクセスする場合、業務遂行に必要な範囲に限り使用することとし、可能な限り匿名化しリスクを最小限にする
- 第三者への情報開示前に、秘密保持契約を締結しているか、確認する
- 安全な場所に情報を保管する
- 資料・情報に機密情報であることの表示、ファイル開示用にパスワードの設定、情報の暗号化などの対応策を取る
- 理事会や事務局のメンバーから外れる場合は、メンバーとしての立場でしか接したり保有したりすることのできなかつた情報資産を、キーパーソン 21 に返却するものとする

7. 知的財産の尊重

キーパーソン 21 の会員は、商標や著作権など、他団体の有効な知的財産権を尊重します。

- 第三者と交わした秘密保持契約や、秘密保持条項を遵守する
- 会員の元雇用主、現雇用主に対する守秘義務を遵守する
- ロゴを含む第三者の知的財産は使用する前に所有者の許可を得る

8. 利益相反の回避

会員は、キーパーソン 21 の利益を犠牲にして自分自身や第三者の利益を図ってはいけません。

- 外部に職を持つ会員がキーパーソン 21 の業務に就く場合、事前に雇用主から承認を得るようにする
- 理事等が、キーパーソン 21 との競業行為や直接または間接の利益相反取引を行う場合は、当該理事が退席している理事会の場で審議決定されねばならない
- キーパーソン 21 での立場を外部での活動の促進に使用しない
- キーパーソン 21 との売買を含む契約に親族や友人が関係する場合、事前に理事会に報告し承認を得なければならない
- キーパーソン 21 以外の場で、キーパーソン 21 が提供するプログラムやノウハウを活かして活動することがキーパーソン 21 の事業利益を損なわないよう注意する

9. 反社会的勢力への毅然とした対応

善良な市民生活や私たちの団体活動に脅威を与える反社会的勢力に屈することなく、毅然とした対応で臨みます。

まだまだ他にもたくさんの留意すべき事柄があると思います。
判断に迷うことがある場合、あいまいなままに放置したり個人の推測に基づいて決めたりしてはいけません。必ず事務局に問合せ、判断を仰ぐようにしてください。

なお、この倫理綱領を変更する場合は、理事会での決議を必須とします。

附則

この倫理綱領は 2019 年 11 月 11 日より施行する。

附則

この倫理綱領は 2020 年 5 月 31 日より施行する。